

金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

社会連携研究成果報告書 2023

人に夢を。
地域に活力を。
ビジネスに未来を。

金沢美術工芸大学の
創造力を、
あなたの事業に
お役立てください。

金沢美術工芸大学では、社会連携
センターを拠点に、広く企業や研究
機関・公共団体などとの連携活動
を推進しています。

POLICY
理 念

金沢美術工芸大学は社会貢献を、
教育と研究に並ぶ大学の使命と位
置づけ、地域連携・産学連携を通し
て積極的に社会貢献を行います。

1. 本学の持つ美術工芸分野の専門
知識や技術、社会連携で得られ
た成果を広く社会に還元します。
2. 地域の産業と積極的に連携を図
り、地域社会の活性化に貢献し
ます。
3. 社会との連携活動を体験するこ
とで、より実践的に社会に寄与
できる人材を育成します。

SYSTEM
活動体制

テーマの規模や内容、状況に応
じて、様々な研究方法・スタイルを
準備しています。詳細はお問い合わ
せください。

研究制度

共同研究

企業や教育機関より研究者・研
究経費等を受け入れ、共通の課
題について対等な立場で研究を
行う制度

受託研究

企業等から委託を受け、委託者
の負担する経費で研究を行い、そ
の成果を委託者に報告する制度

研究体制

プロジェクト型（課外活動型）

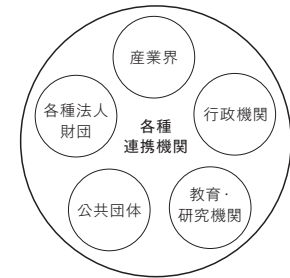
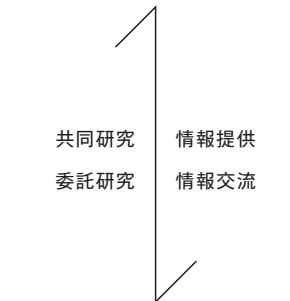
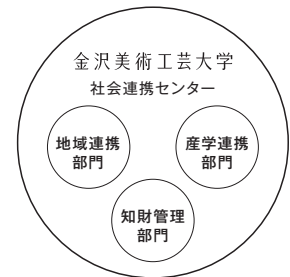
教員の指導により研究を推進。
学生の新しい視点での発想、現
実性の高い成果が期待できます。

プロフェッショナル型

教員との研究。ハイレベルで実
践的な研究成果が期待できます。

NETWORK
社会連携

他大学・研究機関とのパートナ
ーシップを深め、実現性の高いハイク
ラスの研究を推進します。



FLOW
活動の流れ

以下のような、求められる課題や
相談に対し、よりよき成果をめざし
て、確かな体制と綿密プロセスをベ
ースに研究を進めています。

■ 商品の企画・開発にデザインを
利用したい

■ CI・ブランド開発にデザインを
活用したい

■ マーケティングにデザインを
活用したい

■ 店舗・施設の開発にデザインを
活用したい

■ 伝統工芸の専門技術の商品開発に
活用したい

■ 美術（芸術）分野の専門知識を
商品開発に活用したい



- ・研究目的
- ・研究体制・研究方法
- ・研究期間・研究予算
- ・研究成果予測
- ・その他事務手続き 等



- ・経費明細
- ・支払条件等



- ・知的財産権の取扱い
- ・研究成果の公表時期
- ・機密保持に関する取り決め等



- ・オリエンテーション
- ・調査
- ・研究・デザイン制作 等
- ・プレゼンテーション
- ・試作
- ・製品化 等

事例に応じた研究内容を
ご用意できます。



- ・研究成果報告書の作成
- ・特許等の出願・契約等の締結

FIELD
活動領域

美術・工芸・デザインから芸術学
まで、本学に蓄積された有形無形
の資産をベースに、気鋭のプロフェ
ッショナル達がハイレベルの研究
活動を推進します。

本学の教員は、それぞれが独立
したプロの作家、デザイナー、研究
者です。活躍する分野はもちろん、
年齢、経歴、ネットワークも様々な
人材が、才能にあふれる学生たち
とともに連携事業の研究活動を推
進します。

美術系

日本画 / 油画 / 彫刻 / 芸術学

デザイン系

視覚デザイン / 製品デザイン /
環境デザイン / ファッションデザイン

工芸系

陶磁 / 漆・木工 /
鋳金・彫鍛金 / 染・織

専門領域分野

ヴィジュアルコミュニケーション
広告デザイン
サインデザイン
映像・メディアデザイン
Web デザイン
パッケージデザイン
ユニバーサルデザイン
インターフェイスデザイン
情報機器デザイン
輸送機器デザイン
家具デザイン
生活関連用品デザイン
都市計画デザイン
建築デザイン
インテリアデザイン
ディスプレイデザイン
ランドスケープデザイン
ファッションデザイン
テキスタイルデザイン
陶芸
漆芸
木工
彫鍛金
鋳金
染織
モニュメント
壁画
材料・修復

過去 5 年間の社会連携研究数

年 度	総 数	地域連携事業	産学連携事業	連携協定事業
2019 (R1)	29	13	11	5
2020 (R2)	17	8	7	2
2021 (R3)	27	13	13	1
2022 (R4)	29	20	8	1
2023 (R5)	31	20	10	1
計	133	74	49	10

※報告書掲載数は複数年に渡る事業も含む。

地域連携事業

182 >> 201

182	「G7 富山・金沢教育大臣会合」に係る PR ツールの制作及び監修	6
183	庁舎前デジタルサイネージに表示する時報コンテンツの制作	7
184	金沢マラソン 2023 完走メダルデザイン	8
185	旧東浅川小学校利活用のための 森と市民をつなぐプロジェクトのデザイン	9
186	ホスピタリティアート・プロジェクト 第 32 回 光の回廊シリーズ 13「たからさがし」 ワークショップ・作品展示	10
187	ホスピタリティアート・プロジェクト 第 33 回 第 12 回 ホスピタルギャラリー	11
188	ナッジを活用した不要チラシ等の リサイクル回収ボックスのデザイン及び設計	12
189	児童館フェスティバルでのワークショップ 「みんなでワークショップ 光と影の王国づくり」	13
190	まちの格を高める広告物調査	14
191	金沢市立中村記念美術館 ロゴ制作	15
192	マナーに触れる親子イラスト教室 金沢美大生と描こう！ 親子でマナーぶ！ アートワークショップ	16
193	人権差別撤廃のための 12 枚の啓発パネル制作	17
194	「ISHIKAWA みらいアート展 ～県内障害者作品展～」 個人作家ブースコーディネート事業	18
195	いしかわ百万石文化祭 2023 道の駅学生アートプロジェクト	19
196	第 36 回 JAPANTENT に係る T シャツ及び広報物のデザイン	20
197	いしかわ百万石文化祭2023 トリックアート	21
198	金沢市立明成小学校の校章デザイン提案	22
199	金沢クラフト 首都圏魅力発信拠点にかかる名称・ロゴ制作業務	23
200	しいのき迎賓館 光のアート	24
201	「触れてみる彫刻展」ならびに「ハンズオン展示体験学習」	25

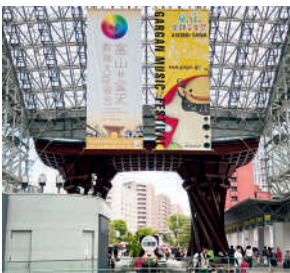
「G7 富山・金沢教育大臣会合」に係るPR ツールの制作及び監修



【委託者】	
石川県企画振興部 G7 教育大臣会合推進室	
【期間】	
2022 年 11 月—2023 年 5 月	
【研究体制】	
プロジェクト型	
【担当教員】	
寺井 剛敏 教授	デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】	
田嶋 千尋	視覚デザイン専攻 4 年

【開発日程】	
2022 年	
11 月 17 日	県庁よりオリエンテーション
12 月 23 日	今後の対応検討
2023 年	
1 月 4 日	富山大学と連携して進めることが決定
1 月 11 日	富山大学+富山県庁、石川県庁+美大 4 者 ZOOM 会議
1 月 18 日	富山とロゴマークの調整、ポスター展開検討～デザイン制作作業
2 月 14 日	県庁にて記者発表（聴知事、村山市長同席）



もてなしドーム



金沢駅構内サイネージ



金沢市役所庁舎内



石川県庁エントランス

庁舎前デジタルサイネージに表示する時報コンテンツの制作



市長挨拶



学生の作品が上映される様子



取材を受ける学生

金沢市の市役所前の大型サイネージにて、学生の制作した時刻をお知らせする映像が毎時きっかりに流れる。映像は 20 秒ほどで、学生全員の作品が繰り返し放映される。映像は必ず開始 10 秒で時刻を表す数字が出現するようにデザインされおり、毎年の恒例となり市民から楽しみにされている。

【委託者】	
金沢市 都市政策局 広報広聴課	
【期間】	
2023 年 4 月—5 月	
【研究体制】	
プロジェクト型	
【担当教員】	
寺井 剛敏 教授	デザイン科 ホリスティックデザイン専攻
下浜 臨太郎 非常勤講師	デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】	
石渡戸 双葉	視覚デザイン専攻 2 年
稲田 萌花	視覚デザイン専攻 2 年
上野 紗椰	視覚デザイン専攻 2 年
漆畑 天音	視覚デザイン専攻 2 年
江川 依吹	視覚デザイン専攻 2 年
北 恭輔	視覚デザイン専攻 2 年
北尾 楓	視覚デザイン専攻 2 年
舩田 一葉	視覚デザイン専攻 2 年
坂口 華杏	視覚デザイン専攻 2 年
菅谷 美香	視覚デザイン専攻 2 年
外山 晴菜	視覚デザイン専攻 2 年
田中 日和	視覚デザイン専攻 2 年
馬杉 帆々香	視覚デザイン専攻 2 年
松澤 玄樹	視覚デザイン専攻 2 年
松下 和香	視覚デザイン専攻 2 年
三澤 空花	視覚デザイン専攻 2 年
三隅 玲那	視覚デザイン専攻 2 年
山口 慎平	視覚デザイン専攻 2 年
山下 ラリナ 愛連	視覚デザイン専攻 2 年
山下 尋	視覚デザイン専攻 2 年
吉田 明凜	視覚デザイン専攻 2 年

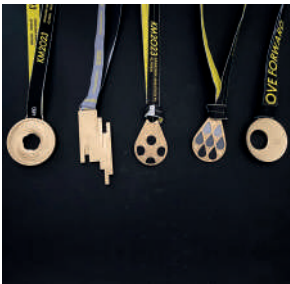
【開発日程】	
2023 年	
4 月 11 日	ワークショップ
4 月 25 日	時報データ制作開始
5 月 19 日	プレゼンテーション

184

金沢マラソン 2023 完走メダルデザイン



金沢マラソン 2023 は、令和 5 年 10 月 29 日に開催され 13,290 人が参加した。天候はくもり、気温 12.7℃。時折日も差す絶好のマラソン日よりとなり、完走者は 12,802 人。96.3% の完走率となった。その完走者へ贈る完走メダルを今年も地域連携事業として受託し、学生 14 名がアイディアを提案した。16 案のアイディアから 1 次選考で 4 案＋に絞り、デザインモデルを制作して最終選考した結果、山田琴琳さんの案が採用された。コンセプトは「MOVE FORWARD」を「先を見据える」と解釈し、メダルに穴を空け未来をのぞき込むイメージで表現した。惜しくも選ばれなかった残りの 3 案は、オンライン大会のパーチャルメダルとして採用され配信された。



1 次選考通過デザインモデル 4 案＋



市長への完成報告・記者発表



デザインが採用された山田さん（メダル配布場所）



オンライン大会のパーチャルメダル 3 種

【委託者】
金沢市文化スポーツ局 金沢マラソン推進課
【期間】
2023 年 4 月—2024 年 3 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
浅野 隆 教授 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

【参加学生】
稲垣 晶子 製品デザイン専攻 3 年
亀田 あかり 製品デザイン専攻 3 年
川端 鈴奈 製品デザイン専攻 3 年
喜多 純平 製品デザイン専攻 3 年
芝山 晃太郎 製品デザイン専攻 3 年
関口 優月 製品デザイン専攻 3 年
坪内 大貴 製品デザイン専攻 3 年
中南 温恵 製品デザイン専攻 3 年
西野 咲 製品デザイン専攻 3 年
福島 蘭奈 製品デザイン専攻 3 年
前川 桃葉 製品デザイン専攻 3 年
森島 小姫瑛 製品デザイン専攻 3 年
山田 琴琳 製品デザイン専攻 3 年
山田 真由 製品デザイン専攻 3 年

【開発日程】
2023 年
3 月 20 日 オリエンテーション・概要説明 Watch 浜辺さんからテーマの 説明 事務局から仕様（条件等）の説明
4 月 24 日 アイディア 16 案提案
5 月 19 日 オンライン打ち合わせ
5 月 30 日 第 1 次アイディア選考→ 4 案 に
6 月 28 日 デザインモデル完成、 マラソン推進課に提出
7 月 3 日 最終案決定
9 月 12 日 パーチャルメダルデータ提出
10 月 19 日 市長への完走メダル完成報告・ 記者発表
10 月 29 日 金沢マラソン 2023 当日 ゴール付近メダル配布場所で ボランティアとしてランナーに 配布

185

旧東浅川小学校利活用のための 森と市民をつなぐプロジェクトのデザイン



出会うための wood stock の 3 つの場



学生によるプレゼンテーション



第二庁舎ロビーにおける成果展示

【委託者】
金沢市 森林再生課
【期間】
2023 年 4 月—2024 年 3 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
角谷 修 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻
鐺 隆弘 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻
畠野 裕司 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻
北村 賢哉 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻
西本 耕喜 准教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】
秋本 ひより 環境デザイン専攻 3 年
朝倉 文子 環境デザイン専攻 3 年
糸井 向日葵 環境デザイン専攻 3 年
魚野 真由 環境デザイン専攻 3 年
太田 あいり 環境デザイン専攻 3 年
門脇 春風 環境デザイン専攻 3 年
飯屋 柊元 環境デザイン専攻 3 年
古来 羽汰 環境デザイン専攻 3 年
鈴木 快千代 環境デザイン専攻 3 年
田中 絢女 環境デザイン専攻 3 年
谷上 月渚 環境デザイン専攻 3 年
中 亮光 環境デザイン専攻 3 年
中村 貫二 環境デザイン専攻 3 年
西田 有希 環境デザイン専攻 3 年
樋口 初喜 環境デザイン専攻 3 年
藤井 華乃 環境デザイン専攻 3 年
満田 愛津美 環境デザイン専攻 3 年
山根 里利佳 環境デザイン専攻 3 年
渡邊 咲希 環境デザイン専攻 3 年

【開発日程】
2023 年
4 月 17 日 全体及び構想段階 オリエンテーション 地域・敷地調査、建物見学
4 月 27 日 構想段階発表会
4 月 28 日 建築段階オリエンテーション 建物調査
5 月 22 日 建築段階発表会
5 月 23 日 インテリアデザイン段階 オリエンテーション
6 月 16 日 インテリアデザイン段階 発表会
6 月 20 日 プロダクトデザイン段階 オリエンテーション
7 月 11 日 プロダクトデザイン段階発表会
7 月 18 日 ロゴデザイン段階 オリエンテーション
7 月 31 日 全段階を含む学内での発表会
8 月 4 日 市役所関係者、森づくり市民 会議委員、林業関係者向けプ レゼンテーション
8 月 4 日～ 6 日 成果展示（市役所第二庁舎ロビー）



展示会場における成果説明



展示会場における質疑応答

186

ホスピタリティアート・プロジェクト 第32回 光の回廊シリーズ13「たからさがし」 ワークショップ・作品展示



ホスピタリティアート・プロジェクト（HAP）は、金沢市立病院と金沢美術工芸大学との連携により、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探索する事を目的とした研究である。プロジェクト第32回の企画となる、光の回廊シリーズ13は、「たからさがし」と題し実施された。病院1階待合いホールに面した大ガラスに患者、医療者、美大学生の協働によりステンドグラス風の装飾を施されるこのワークショップ・展示企画は、2009年に第1回企画が実施されて以来、美大・市立病院・金沢市のバランスの取れた連携が継続されており、病院関係者および周辺地域に受け入れられている。

大学での図案会議・下準備に始まり、病院内でのワークショップ・展示・撤収に至るまで、無事に終えることができた。このプロジェクトは医療環境におけるコミュニケーションのあり方を提示し、そこに創出される彩りの空間は通院・入院患者、医療関係者の日常に癒しの効果を与えている。



学内での制作



病院での制作

〔委託者〕
金沢市立病院
〔期間〕
館内制作 2023年8月27日～29日 ワークショップ 2023年8月29日 13:00～16:00 館内展示 2023年8月29日～9月22日
〔研究体制〕
プロジェクト型
〔担当教員〕
三浦 賢治 教授 美術科油画専攻 ホスピタリティアート・コーディネーター 岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

〔参加学生〕
石黒 鈴呼 油画専攻1年 井上 英海 油画専攻1年 岩尾 琉花 油画専攻1年 浦野 華 油画専攻1年 大井 菜々美 油画専攻1年 藤本 あり 油画専攻1年 山本 一葉 油画専攻1年 小川 信幸 油画専攻2年 金森 琴巨 油画専攻4年 金丸 遥香 彫刻専攻3年 上田 千裕 彫刻専攻3年 奥村 花菜 芸術学専攻1年 松田 有加 芸術学専攻2年 小寺 真悠 芸術学専攻2年 佐藤 彩乃 芸術学専攻2年 服部 未来 視覚デザイン専攻2年 三隅 玲那 工芸科1年 遠藤 瑞季 工芸科1年 長縄 花怜 工芸科1年

〔開発日程〕
2023年
7月3日 HAP説明会
7月12日 第1回企画会議（テーマ会議）
7月18日 第2回企画会議（図案持ち寄り、選出）
7月下旬～8月上旬 消耗品発注
8月7日～9日 大学での制作、下準備
8月26日 作業用足場設置（業者委託）、脚立等の備品を病院に搬入（展示撤収用）
8月27日 市立病院での設営、制作9:45～17:00 ガラス保護シート張り替え、カラーセロハンによる大ガラスの装飾開始
8月28日 9:30～17:00 市立病院での制作
8月29日 9:30～17:00 市立病院での制作 13:00～16:00 ワークショップを経て完成、9月22日まで展示
9月22日 15:00～ 撤収（セロハン・ガラス保護シート剥がし、資材搬出）



ワークショップ



会場風景

187

ホスピタリティアート・プロジェクト 第33回 第12回 ホスピタルギャラリー



ホスピタリティアート・プロジェクト（HAP）は、金沢市立病院と本学との連携により、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探索する事を目的とした研究である。プロジェクトの一環であるホスピタルギャラリーは、アートが患者さんの治療と生活の質の改善を手助けし、病院が地域社会における身近な交流の場となることを目的として、2012年度に第1回展が開催された。以後出品点数を増やしながら周辺地域に根付いた活動として現在に至っている。病院の待合ホールに期間限定の「美術館」を設置するにあたり、病院スタッフ、本学学生が協力して展示・受付・撤収に参加するこの試みは全国的にみても珍しく、各メディア・学術方面からも注目されている。前年度に引続き今年度も「いしかわ百万石文化祭2023」の一環として開催された。



会場設営



会場設営

〔委託者〕
金沢市立病院
〔期間〕
2023年11月3日～5日
〔研究体制〕
プロジェクト型
〔担当教員〕
三浦 賢治 教授 美術科油画専攻 ホスピタリティアート・コーディネーター 岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

〔協力〕
横川 善正 金沢美術工芸大学名誉教授（HAP顧問）
〔参加学生〕
三隅 玲那 視覚デザイン専攻2年（第12回展ポスター・募集要項表紙デザイン）
〔金沢市立病院 ホスピタリティアート・プロジェクトメンバー〕
病院事業管理者 高田 重男 院長 松下 栄紀 副院長、小児科長 瀬野 晶子 耳鼻咽喉科長 中西 清香 看護部副部長 中町 麻紀子 放射線室 安土 佳宏 臨床検査室 海道 一恵 臨床検査室 角野 忠昭 薬剤室 新谷 圭子 事務局 村田 美輝 事務局 中川 大和 事務局 辻 湧介

〔市民アドバイザー〕
野川 勝紀 富地 晃裕 駒井 順子

〔開発日程〕
2023年
7月4日 第1回企画会議
8月2日 第3回企画会議
8月～ 募集要項、ポスター、チラシ、DM作成
8月21日 展覧会ポスター配布、HP案内
9月11日 展覧会チラシ配布
10月2日～10月13日 作品搬入
10月31日 開催案内（報道関係、FB、LINE）
11月2日 ギャラリー設営（17時～）
11月3日～5日 ギャラリー開催
11月5日 ギャラリー撤収、作品返還（15時～）



会場風景



会場風景

ナッジを活用した不要チラシ等の
リサイクル回収ボックスの
デザイン及び設計



展示風景 かなざわエコフェスタなどで実際に使用

金沢市からの依頼で、ナッジの手法を取り入れることにより、話題性を喚起するとともに、来場者の行動変容を促すことで、イベント会場における古紙(チラシ、パンフレット類)回収の促進及び啓発効果の増大を図ることをコンセプトとしたリサイクル回収ボックスのデザイン及び設計を行った。インダストリアルデザイン専攻の1年生と4年生がチームになって行うスタートデザインの授業期間で、5チームに分かれて調査、デザインを行い、1/1プロトタイプ5案を提案。また、4年生の産学学習の授業期間内で、製品化に向けて制作会社との打合せを重ねた結果、4案が金沢市産材の杉の集成材を利用して製品化された。

完成品は、かなざわエコフェスタやカーフリーデー、KOGEI フェスタ、かなざわ国際交流まつりなどの展示会で実際に使用された。ナッジの効果を上手くデザインに取り入れた案は、来場者の関心を集めチラシの回収率が高かった。学生たちは、自分たちのアイデアが実際に製品化され狙い通りに使用されたことで、自信と達成感に繋がった。



スタートデザイン
プレゼンテーションの様子



1/1プロトタイプ展示
スタートデザイン成果物展示の様子



1/1 現物試作確認
製作会社での試作検討の様子



展示会場視察
使用状態確認の様子

[委託者]	
金沢市 環境局 ごみ減量推進課	
[期間]	
2023年4月ー2024年3月	
[研究体制]	
プロジェクト型	
[担当教員]	
根来 貴成 教授	デザイン科 インダストリアルデザイン専攻
安島 諭 教授	デザイン科 インダストリアルデザイン専攻
[参加学生]	
市川 玲音	製品デザイン専攻 4年
歌野 実	製品デザイン専攻 4年
喜田 夏美	製品デザイン専攻 4年
北野 実優	製品デザイン専攻 4年
木戸 宏大朗	製品デザイン専攻 4年
吉良 あづみ	製品デザイン専攻 4年
黒田 裕晟	製品デザイン専攻 4年
小林 咲輝	製品デザイン専攻 4年
菅原 菜月	製品デザイン専攻 4年
杉本 千夏	製品デザイン専攻 4年
田中 一寛	製品デザイン専攻 4年
谷 水彩紀	製品デザイン専攻 4年
仲座 華那	製品デザイン専攻 4年
成瀬 真歩	製品デザイン専攻 4年
名和 かのん	製品デザイン専攻 4年
畑本 宗俊	製品デザイン専攻 4年
藤田 桃歌	製品デザイン専攻 4年

本間 智大	製品デザイン専攻 4年
正木 夏穂	製品デザイン専攻 4年
ラートル 榛士	製品デザイン専攻 4年
吉村 多喜	大学院 製品デザインコース 1年
村中 さくら	金沢大学大学院 人間社会環境研究科 経済学専攻 1年
吾妻 愛太郎	インダストリアルデザイン専攻 1年
稲田 伊吹	インダストリアルデザイン専攻 1年
太田 聖華	インダストリアルデザイン専攻 1年
大宮 立義	インダストリアルデザイン専攻 1年
菊地 悠介	インダストリアルデザイン専攻 1年
児玉 結音	インダストリアルデザイン専攻 1年
佐竹アリシア真南美	インダストリアルデザイン専攻 1年
田村 侃	インダストリアルデザイン専攻 1年
東郷 荘太郎	インダストリアルデザイン専攻 1年
中川 泰志	インダストリアルデザイン専攻 1年
中村 理人	インダストリアルデザイン専攻 1年
南野 結	インダストリアルデザイン専攻 1年
西木場 友希	インダストリアルデザイン専攻 1年
前川 楓果	インダストリアルデザイン専攻 1年
松尾 一輝	インダストリアルデザイン専攻 1年
松尾 知門	インダストリアルデザイン専攻 1年
見神 隆之介	インダストリアルデザイン専攻 1年
三澤 仁実	インダストリアルデザイン専攻 1年
道林 南美	インダストリアルデザイン専攻 1年
森 頌真	インダストリアルデザイン専攻 1年
安田 和平	インダストリアルデザイン専攻 1年
山内 はんな	インダストリアルデザイン専攻 1年
山下 一颯	インダストリアルデザイン専攻 1年
[協力企業]	
株式会社 山岸製作所	

[開発日程]	
2023年	
4月11日～18日	スタートデザインにて調査、デザイン検討、1/1プロトタイプ5案提案、プレゼンテーション、展示会実施
4月26日	金沢市役所環境局 ごみ減量推進課 製品化選考会議
5月19日、6月6日	株式会社山岸製作所 設計打ち合わせ
6月12日～27日	4年生の産学学習授業にてブラッシュアップ4案を選考
6月19日、6月30日、7月21日	株式会社山岸製作所 設計打ち合わせ
7月4日	デザイン三面図データ、株式会社山岸製作所へ提出
9月21日	株式会社山岸製作所担当者と1/1現物試作品確認
10月7日	かなざわエコフェスタにて4台設置
10月8日	カーフリーデーにて4台設置
10月21、22日	KOGEI フェスタにて2台設置、かなざわ国際交流まつりにて2台設置
11月3日～6日	美大祭にて4台を成果展示

児童館フェスティバルでのワークショップ
「みんなでワークショップ 光と影の王国づくり」



自分も影絵の中に。背景が切り替わるのも楽しい。



入口で、板状の粘土を受け取って



王国に住んでいた生き物たちを想像する

[委託者]	
金沢市 こども未来局 子育て支援課	
[期間]	
2023年6月ー11月	
[研究体制]	
プロジェクト型	
[担当教員]	
桑村 佐和子 教授	一般教育等

[参加学生]	
長沖 純	油画専攻 2年
星野 美月	日本画専攻 2年
星野 茉琴	日本画専攻 2年
藤井 七星	環境デザイン専攻 2年
泉 泰平	製品デザイン専攻 2年
松岡 千冬	油画専攻 1年
松田 有加	芸術学専攻 1年
田中 菜々美	芸術学専攻 1年
上野 香絵	ホリスティックデザイン専攻 1年
堀田 陽生	ホリスティックデザイン専攻 1年

[開発日程]	
2023年	
6月21日	子育て支援課からの依頼説明会
8月4日	打ち合せ、WS案プレゼン(8月14日～10月7日準備期間)
8月14日	市民芸術村ドラマ工房下見
9月3日	照明の調整、WS試作
9月28日	ドラマ工房ディレクター＋子育て支援課との打ち合わせ
10月8日	児童館フェスティバル当日



置き場所を吟味して



金沢市民芸術村のディレクターと共に

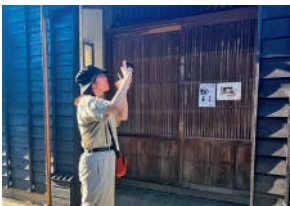
まちの格を高める広告物調査



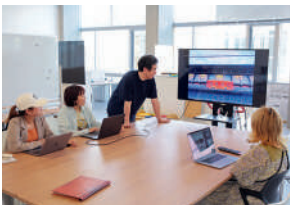
【委託者】
金沢市 都市整備局 景観政策課
【期間】
2023年7月—2024年3月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
坂野 徹 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】
二宮 麻美 大学院 デザイン専攻1年
籾 佑伽 大学院 デザイン専攻1年
西山 誌織 大学院 デザイン専攻1年

【開発日程】
2023年
7月13日 本学にて仕様説明 第1回ミーティング (オリエンテーション)
8月1日 市内見学会
10月4日 第2回ミーティング
10月18日 第3回ミーティング
10月31日 第4回ミーティング
11月13日 景観政策課 への中間報告会
12月5日 第5回ミーティング



市内見学会



定期ミーティング



リモートミーティング

金沢市立中村記念美術館 ロゴ制作



ロゴマーク基本デザイン



バリエーションデザイン（カラー／モノクロ）



ロゴマーク使用例（名刺 カラー）

金沢市立中村記念美術館よりブランディング強化のため、美術館の魅力をあらわすロゴマークの制作を依頼された。10月から開催予定のいしかわ百万石文化祭 2023 に間に合わせるスケジュールで、これまで金沢市関連ロゴマーク制作で実績のあるアートディレクターと協同で制作を進めた。「茶道具と工芸の美術館」というタグラインが特徴であり、それとストレートにつながることを意識し茶道具の「茶筌」をモチーフにデザイン化したマークを提案した。

【委託者】
中村記念美術館
【期間】
2023年4月—9月
【研究体制】
プロフェッショナル型
【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【協力】
デザイン 橋本謙次郎

【開発日程】
2023年
4月6日 オリエンテーション
5月15日 プレゼンテーション、 その後商標調査等対応
6月中旬 ロゴマーク決定、マニュアル制 作作業スタート
9月下旬 マニュアル納品

192

マナーに触れる親子イラスト教室 金沢美大生と描こう！親子でマナーぶ！ アートワークショップ

金沢市民憲章の精神に基づき、市民ぐるみでマナーの高揚に取り組み、美しく、明るく、住みよい金沢のまちづくりを目的に平成5年に設立された、「マナーをよくするかなざわ市民会議」の企画として、絵を描くことを通してマナー意識を醸成するための2時間のワークショップを開催した。金沢市内の小中学生を対象として、親子で参加出来る企画とし、参加者はマナーについて知り、その大切さを実感して、今後の生活で実践するきっかけとなるようなワークショップを構築することを目指した。参加者には、小学生の低学年も含まれるため、大人を中心とした社会のマナーを教えるというスタンスではなく、子供目線で身の回りの出来事に関するマナーについて考えてもらい、それらを絵にすることで共有する構成とした。本番では普段描くことがないような大きな紙を用意し、修士課程1年生2名と博士課程1名の学生とともに、積極的にコミュニケーションをとり、参加者が考えるマナーについて描くワークショップとなった。



参加者が身の回りのマナーについて考えて絵を描くワークショップの様子



ワークショップ会場の様子



参加学生の自己紹介

【委託者】
金沢市 市民局 市民協働推進課
【期間】
2023年5月―8月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
石崎 誠和 准教授 日本画専攻

【参加学生】
南野 和 大学院 美術工芸専攻2年
坂井 亜也子 大学院 絵画専攻1年
矢野 宏美 大学院 絵画専攻1年

【開発日程】
2023年
5月24日 概要説明 アイデアミーティング
7月3日 アイデアミーティング
8月3日 最終ミーティング ワークショップ準備



協力学生が声をかけて、参加した子供達が描くのを補助している様子



描いた後の記念撮影

193

人権差別撤廃のための 12枚の啓発パネル制作

差別問題に一番関心が無い世代と統計データが示す今の大学生世代。金沢市が掲げる人権差別についての主な12項目を学び、同じ世代の大学生に向かって、またそのほかの世代に向かって、差別撤廃を啓発するパネルを作成。市が行う12月のイベントで掲示する。

女性差別、こども差別、高齢者差別、障害者差別、部落差別、外国人差別、感染症差別、犯罪被害者差別、刑を終えた人への差別、インターネット上での差別や攻撃、マイノリティへの差別、その他、差別がそこに存在しうることの学習からプロジェクトは始まる。

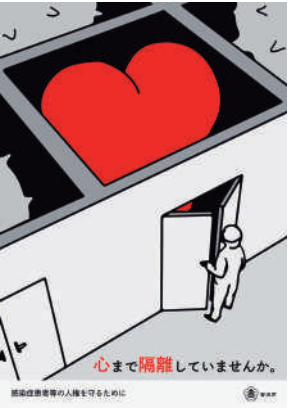
差別のありようへの理解、ディスカッション、そこから生まれるコピー。コピーからイメージ写真を撮影していき、その写真からイラスト画像へ具現化。更に説明文のパネルも別途作成。(報告書の画像説明文がそれに当たる)差別撤廃を啓発する画像とは？どう表現したら伝わるか、伝え方によっては差別を助長しないか？__慎重に、識者の見解と討議を経て、一年を通して、コピー(＋説明文)＋写真撮影取材、イラスト、フィニッシング、と役割分担した学生チームが仕上げていった。



【委託者】
金沢市 市民局 ダイバーシティ人権政策課
【期間】
2023年4月―2024年3月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
よしだぎょうこ 教授 芸術学専攻

【参加学生】
佐藤 莉於 芸術学専攻3年
中山 航 芸術学専攻3年
徳光 椋子 芸術学専攻3年

【開発日程】
2023年
4月24日 ダイバーシティ人権政策課、美大事務、芸術学専攻／概要、デザイン条件等説明
5月9～19日 学生バイト希望者確認 チーム結成 アイデアミーティング
5月24日 第一回アイデアプレゼンテーション、コンセプト説明
6月20日 第二回アイデアプレゼンテーション、コンセプト説明
7月11日 初期案作成バッチ
7月20日 ダイバーシティ人権政策課に初期案完成データ渡し
8月～9月 ダイバーシティ人権政策課及び識者、法律家等での内容検討ミーティング
10月3日 ダイバーシティ人権政策課、美大事務、芸術学専攻／最終案検討ミーティング
11月20日 最終案提出



「ISHIKAWA みらいアート展
～県内障害者作品展～」
個人作家ブースコーディネート事業



関係者向け解説会の様子

〔委託者〕	〔参加学生〕	〔開発日程〕
いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会	高橋 紀子 日本画専攻 3 年 小林 葵 芸術学専攻 3 年 光井はるな 芸術学専攻 3 年 宮岸 桂花 芸術学専攻 3 年	2023 年
〔期間〕	〔協力〕	4 月 24 日 実行委員会と美大で契約締結
2023 年 4 月—12 月	金沢アート工房ほか	6 月 2 日 実行委員会と美大で事業内容について初回の打ち合わせ
〔研究体制〕		6 月 13 日 参加学生との初回打ち合わせ、以後、各作家の調査と展示プラン作成を順次進める
プロジェクト型		7 月 8 日 金沢アート工房の創作活動を見学
〔担当教員〕		8 月中旬 トークイベントのフライヤー・デザインを開始
渋谷 拓 教授 一般教育等 寺井 剛敏 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻		10 月 5 日 トークイベントのフライヤーの発送作業
		10 月 23 日 作品の搬入・展示作業（～24 日）
		10 月 25 日 展覧会（～11 月 5 日）
		10 月 28 日 トークイベント 「障害者アートのこれから—美大生の視点から— （美大新キャンパス 101 講義室） 登壇者：宮本恵美氏 （埼玉県・アートセンター集センター長） 本学学生、本学教員
		11 月 1 日 関係者向け解説会の実施
		11 月 6 日 作品の撤収・搬出作業

本事業は、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会からの委託事業として、「ISHIKAWA みらいアート展～県内障害者作品展～」を、本学学生が主にキュレーションを担当する事業として実施された。会期は 2023 年 10 月 25 日～11 月 5 日、会場はしいのき迎賓館ギャラリー A である。参加学生は可能な限り作家のもとに足を運んで作品調査を行い、出品作品の選定と解説執筆、展示プランの策定、展示作業、関係者向けの解説、トークイベントでの発表、広報印刷物とキャプションのグラフィック・デザインを分担して担当した。

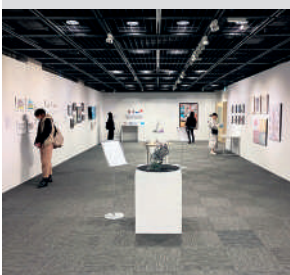
「いしかわ百万石文化祭 2023」の実施年であった今年度の委託事業は、昨年度と異なり、障害者芸術・文化祭で実施される事業のなかのひとつという位置づけであった。出品作家や展覧会タイトルなどの指定があるなかでのキュレーションとなったが、参加学生にとっては国や自治体为本分野の展覧会事業を実施することの意義を学ぶ貴重な機会となった。展示、ギャラリー・トークともに大変好評だった。



トークイベントのフライヤー・デザイン



関係者向け解説会の後に作家らと談笑



展示の様子



新キャンパスでのトークイベントの様子

いしかわ百万石文化祭 2023
道の駅学生アートプロジェクト



作品構想意見交換会の様子



作品構想意見交換会の様子

〔委託者〕	〔参加学生〕	〔開発日程〕
いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会	石島 基輝 大学院 彫刻専攻1年 佐藤 慧 彫刻専攻3年 中林 千莉 彫刻専攻3年 武 超 大学院 絵画専攻2年 王 一帆 大学院 絵画専攻1年 風見 佳那 油画専攻4年 勝又 理音 油画専攻4年	2023 年
〔期間〕		3 月 20 日 しいのき迎賓館にて打ち合わせ
2023 年 4 月—12 月		4 月 21 日 現地視察
〔研究体制〕		5 月 9 日 油画・彫刻合同会議
プロジェクト型		5 月 27 日 しいのき迎賓館にて作品構想意見交換会
〔担当教員〕		8 月 6 日 獅子ワールド館見学
岩崎 純 准教授 美術科油画専攻 高橋 治希 教授 美術科油画専攻 浜田 周 教授 美術科彫刻専攻		10 月 11 日 作品設置
		11 月 1 日 取材（テレビ金沢）

「道の駅学生アートプロジェクト」は、県内五大学の学生が道の駅や周辺地域の魅力を伝えるアート作品を制作し「いしかわ百万石文化祭 2023、第 38 回国民文化祭、第 23 回全国障害者芸術・文化祭」期間中に展示を行う地域創造プロジェクトである。

県内 2 カ所の道の駅（のと千里浜、めぐみ白山）に彫刻専攻（3 名）油画専攻（4 名）の学生が地域性や独自の文化について調査分析し、それぞれテーマを決め、メンバーと協力しながらオブジェ作品の制作・展示を行った。また 5 月末には、しいのき迎賓館にて五大学（金沢大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、金沢学院大学、金沢美術工芸大学）による作品構想意見交換会が開催され、参加学生同士の交流・親睦を深めるに至った。道の駅のパブリックスペースに設置された作品は、展示期間 44 日間（10 月 14 日～11 月 26 日）最後まで来場者を楽しませ、新たなフォトスポットとして好評を博した。



制作風景（彫刻専攻）



制作風景（油画専攻）

196

第 36 回 JAPANTENT に係る T シャツ及び広報物のデザイン



T シャツのデザイン



プレゼンテーション



ホストファミリーとの交流



歓迎式典



4 年ぶりに 8 月 17 日から 19 日まで開催された「第 36 回記念 JAPAN TENT ―世界留学学生交流・いしかわ 2023」で、参加者が着用した T シャツ基本デザイン制作を前回に引き続きおこない、視覚デザイン専攻 4 年生乙幡さんのデザイン案が採用された。子どもたちの幸せを願う加賀起き上がりをモチーフに丸い形で世界を優しく包むイメージと水引で人と人をつなぐという意味をこめたデザインとなっている。T シャツを受け取った海外からの参加者、ホストファミリーにも好評だった。

【委託者】
株式会社 北國新聞社
【期間】
2023 年 6 月―9 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】
乙幡 向日葵 視覚デザイン専攻 4 年
相良 実和 視覚デザイン専攻 4 年

【開発日程】
2023 年
6 月 15 日 オリエンテーション、 デザイン案件検討
7 月 5 日 プレゼンテーション
7 月 10 日 最終案決定、 その他作業スタート
8 月 17 日 JAPAN TENT 歓迎セレモニーにて T シャツ 配布
8 月 19 日 JAPAN TENT さよならセレモニー

197

いしかわ百万石文化祭2023 トリックアート



【委託者】
株式会社 ケイ・シー・エス
【期間】
2023 年 8 月―2024 年 3 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

【参加学生】
本川 ななほ 油画専攻 3 年
宮岸 桂花 芸術学専攻 3 年
浦野 華 油画専攻 1 年

いしかわ百万石文化祭の開催期間中に「しいのき緑地」「いしかわ四高記念公園」「本多の森公園」の 3 会場でフォトスポットに活用できるトリックアートを設置し、各会場へ誘客する仕掛けを制作。

「アートをより身近なものとして、多くの人に視覚的な驚きと感動を与える」をコンセプトにプロジェクト参加学生が企画立案。また会場ごとに「城下町のお祭り」「明治・大正の学生」「藩政期の伝統文化（能楽、茶の湯、伝統工芸など）」とテーマを絞り込み、各々のアイデアやイメージを作品化し展示をおこなった。トリックアートという仕掛け（表現）は物珍しさも手伝って、子供から大人まで幅広い層に支持を得ることができ大変好評を博した。また期間中は企画として明治大正時代の学生服のレンタルなども行い、多くの人が作品をバックに写真撮影をして賑わいを見せた。



試作



明治・大正の学生



城下町のお祭り



藩政期の伝統文化

金沢市立明成小学校の校章デザイン提案



【委託者】
金沢市 教育総務課
【期間】
2023年8月～12月
【研究体制】
プロフェッショナル型
【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【協力】
skip design 西田英一

金沢市より、今年4月から統合開校する明成小学校の校章を依頼された。過去、金沢市内の校章を制作した実績のあるアートディレクターを起用しデザインを検討し進めた。明成小学校は瓢箪町小学校、此花町小学校の2校が統合し、4月からは馬場小学校を統合して新明成小学校としてスタートすることになった。町名や校下の名称が学校名になっていない数少ない小学校であり「明成」という校名、その由来や旧校章デザインから他校にはない「洗練された新しさ」が息づいていることをふまえ、新しく統合される馬場小学校、前身の瓢箪町小学校、此花町小学校の3つの頭文字「B・H・K」で、漢字の「明」を造形したデザインとした。



モノクロ展開



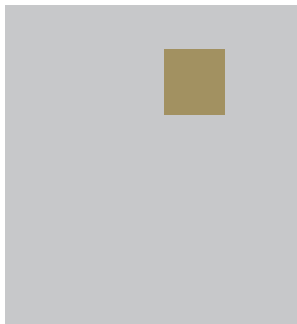
モノクロ展開

【開発日程】
2023年
8月28日 オリエンテーション
10月11日 プレゼンテーション
10月13日 データ修正作業、提出
11月下旬 金沢市長へ プレゼンテーション
12月中旬 最終データ納品



ロゴマーク使用例（名刺 カラー）

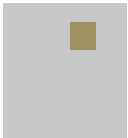
金沢クラフト
首都圏魅力発信拠点にかかる
名称・ロゴ制作業務



KOGEI Art Gallery

銀座の金沢

Ginza no Kanazawa



KOGEI Art Gallery

銀座の金沢

Ginza no Kanazawa

【委託者】
金沢市 経済局 クラフト政策推進課
【期間】
2023年10月～2024年2月
【研究体制】
プロフェッショナル型
【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【協力】
一般社団法人 金沢クラフトビジネス創造機構

【開発日程】
2023年
10月4日 オリエンテーション
10月～11月下旬 検討会で複数回協議
12月11日 検討会で名称は継続で決定
12月26日 検討会にてロゴマーク決定
2024年
1月26日 検討会にて最終確認、 市長へ最終報告

金沢市より現在の dining gallery「銀座の金沢」が移転し、新たな金沢クラフト首都圏魅力発信拠点 KOGEI Art Gallery「銀座の金沢」としてリニューアルするにあたりロゴマーク制作を依頼された。金沢の「KOGEI」を世界に向けて発信。工芸のアート作品と生活工芸を兼ね備えたハイブリッド型のギャラリーを開設。ダイニング機能を廃止し、工芸の本格的なギャラリーとしての機能を強化。これまでの客層や認知度を活かし、ストーリー性を踏襲する。4つのポイントを考慮し、金沢クラフトビジネス創造機構と協同で制作をおこなった。



店舗サイン



店舗サイン（内照）



1 階ギャラリー展示



2 階販売展示

200

しいのき迎賓館 光のアート

冬の金沢を舞台にした歴史的建造物での音楽・アートの「冬の夜の誘客イベント」の一環として、しいのき迎賓館 1 階ガラス面に学生の制作した図案（5 点）をカラーセロハンで装飾を施し、その後ライティング等で「冬の夜に浮かびあがる光のアート」を演出した。

今年度は美術科油画専攻の学生 11 名が参加。令和 5 年（2023 年）に生誕 150 周年を迎えた「泉鏡花」をテーマに油彩、水彩、パステル、デジタルアートで制作を行い、原画をカラーセロハンに印刷。4m のサイズまで引き延ばし、しいのき迎賓館ガラス面にフィルム施工した。ライティング効果もあり昼夜、郷土作家である泉鏡花の世界観を演出することに成功し、期間中は県内外問わず多くの来場者が作品をバックに写真撮影するなど盛況な賑わいをみせた。



フィルム施工の様子



現地視察



取材の様子



展示風景

【委託者】
公益社団法人 石川県観光連盟
【期間】
2023 年 10 月—2024 年 3 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

【参加学生】
山岸 月菜 油画専攻3年
小川 茜 油画専攻2年
小川 信幸 油画専攻2年
坂野 愛菜 油画専攻2年
高津 芽生 油画専攻2年
立道 柚羽 油画専攻2年
松本 音乃 油画専攻2年
荒井 岳 油画専攻1年
澤田 佳奈 油画専攻1年
中村 彩乃 油画専攻1年
山本 一葉 油画専攻1年

【開発日程】
2023 年
10 月 4 日 概要説明会
11 月中旬 デザイン制作開始
12 月 22 日 作品提出
2024 年
1 月初旬 プロデューサーによる審査
1 月中旬 ブラッシュアップ
2 月 9 日 作品設置・プレゼンテーション

201

「触れてみる彫刻展」ならびに「ハンズオン展示体験学習」

「触れてみる彫刻展」は少しずつ形式を変えながら平成 19 年度から継続して開催している。昨年は北陸日彫会との合同開催であったが、本年は本学の単独での開催となった。出品作品は触れて鑑賞することを念頭に 1、2 年生の小さなものを選抜した。作品や素材のバリエーションも多岐にわたるようにした。児童・生徒たちは毎年彫刻に触れて鑑賞を行なっていることもあり、体全体を使って触れ合っている様子も見られ、継続開催の意義を感じる。学生たちも児童・生徒の素直な反応や様々な質問を受けることで、自身の創作の意義を再考する良い機会となっている。

また、本学の学芸員資格課程では「博物館教育論」の講義の一環として、玄関に常設されている「触れてみる彫刻コーナー」でハンズオン展示の体験学習に協力をいただいた。体験を通し博物館・美術館のバリアフリー化の現状や、ユニバーサル・デザイン、ユニバーサル・ミュージアムなどの考え方とその重要性を考える機会を得ることができた。



「触れてみる彫刻展」鑑賞交流会



「触れてみる彫刻展」鑑賞交流会

【委託者】
石川県立盲学校
【期間】
2023 年 5 月—12 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
「触れてみる彫刻展」
石田 陽介 教授 美術科彫刻専攻
「ハンズオン展示体験学習」
渋谷 拓 教授 一般教育等

【参加学生】
「触れてみる彫刻展」
杉浦 帆夏 彫刻専攻 2 年
陶山 咲楽 彫刻専攻 2 年
寺林 俊太 彫刻専攻 2 年
松末 陽大 彫刻専攻 2 年
持田 航太郎 彫刻専攻 2 年
沖 聡太郎 彫刻専攻 1 年
田中 葉子 彫刻専攻 1 年
小栗 千廣 彫刻専攻 1 年

【開発日程】
「触れてみる彫刻展」
2023 年
11 月 11 日 盲学校 東校長より「触れてみる彫刻展」の開催について（依頼）
11 月下旬 彫刻専攻の授業作品から展示作品の選抜・解説文作成指示
12 月 7 日 作品リスト 出品者の解説文送付
12 月 18 日 作品搬入・展示鑑賞交流会 作品搬出



ハンズオン体験学習

「ハンズオン展示体験学習」
2023 年
5 月 19 日 「触れてみる美術コーナー」体験の依頼
7 月 11 日 「触れてみる美術コーナー」でのハンズオン体験学習ならびに校内施設見学



ハンズオン体験学習

161 >> 170

161	「ブライドポテト JAPAN 金沢の甘えび」 パッケージデザインの制作	28
162	これからの移動 2040	29
163	これからの移動 2040	30
164	珪藻土を使った新しい製品のデザイン研究	31
165	「赤ちゃんを惹きつけるビジュアル・カラー・形とは何か？」の デザインコンペティション	32
166	東北レインボーハウス ワークショップのデザイン作成	33
167	「めがね」をイメージする建造物のデザイン研究	34
168	金沢市における課題の探索とソリューションアイデア創出	35
169	冬季イルミネーションの空間演出計画	36
170	「金沢をイメージした水菓子容器の開発」デザイン研究	37

161

「プライドポテト JAPAN 金沢の甘えび」 パッケージデザインの制作



デザインが採用された学生



金沢市長、佐藤社長と記者発表

【委託者】
株式会社湖池屋
【期間】
2023年2月—9月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】
江川 依吹 北 恭輔 舩田 一葉 坂口 華杏 三隅 玲那 吉田 明凜 坂口 歩 仲谷 健輔 橋本 珠く 藤本 裕人 丸田 哲平 宮澤 つぐみ 青山 豊野 足立 音羽 伊藤 優汰 梶崎 有花 中村 侑芽奈 宗像 紗未
ホリスティックデザイン専攻1年 ホリスティックデザイン専攻1年 ホリスティックデザイン専攻1年 ホリスティックデザイン専攻1年 ホリスティックデザイン専攻1年 ホリスティックデザイン専攻2年 視覚デザイン専攻2年 視覚デザイン専攻2年 視覚デザイン専攻2年 視覚デザイン専攻2年 視覚デザイン専攻2年 視覚デザイン専攻2年 視覚デザイン専攻4年 視覚デザイン専攻4年 視覚デザイン専攻4年 視覚デザイン専攻4年 視覚デザイン専攻4年 視覚デザイン専攻4年

【開発日程】	
2023 年	
2 月 7 日	大学にてオリエンテーション
2 月 28 日	学生からの提案締め切り、 湖池屋へ送付
3 月 6 日	1 次選考 8 人 (11 案) 決定
3 月 14 日	1 次選考通過者 データ修正提出
3 月 28 日	2 次選考通過者 5 人 (6 案) 決定
4 月 5 日	2 次選考通過者 修正バージョン送付
4 月 19 日～	5 月 21 日
	6 案について、デザイン総選挙
5 月 30 日	最終 2 案商品化決定、データ 修正・校正
6 月 13 日	入稿データ確認
8 月 25 日	湖池屋本社にて 最終確認打合せ
9 月 14 日	美大新キャンパスにて新商品 発表会 (村山市長、佐藤社長出席)
9 月 18 日	全国コンビニ、スーパーマーケ ット、ドラッグストアなど 一般店発売



湖池屋本社にて印刷確認



オリエンテーション

162

これからの移動 2040



美大祭学内展示での公開プレゼンテーションの様子。3日間で5500名入場。



最終プレゼンテーション



展示会場にて

【委託者】
スカパー JSAT 株式会社
【期間】
2023年4月—2024年3月
【研究体制】
授業導入型
【担当教員】
河崎 圭吾 教授 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

【参加学生】
メンター 二宮 正人 大石 紘一郎 村上 真子 リーダー 喜多 純平 副リーダー 亀田 あかり 稲垣 晶子
株式会社日立製作所 株式会社日立製作所 株式会社日立製作所 製品デザイン専攻3年 製品デザイン専攻3年 製品デザイン専攻3年
メンター 兼田 尚枝 松島 正憲 リーダー 前川 桃葉 副リーダー 川端 鈴奈
ソニーグループ株式会社 ソニーグループ株式会社 製品デザイン専攻3年 製品デザイン専攻3年
メンター 井手 裕紀 山崎 綾 濱野 青空 リーダー 中南 温恵 副リーダー 山田 真由 西野 花咲
日本電気株式会社 日本電気株式会社 日本電気株式会社 製品デザイン専攻3年 製品デザイン専攻3年 製品デザイン専攻3年
メンター 犬飼 義典 押本 信夫 丸茂 拓哉 リーダー 簀 佑伽 副リーダー 福島 蘭奈 上野 直人
キャノン株式会社 キャノン株式会社 キャノン株式会社 大学院 デザイン専攻1年 製品デザイン専攻3年 製品デザイン専攻3年

【開発日程】	
2023 年	
3 月 6 日	ガイダンス 事前課題
3 月 9 日	メンター向けガイダンス
4 月 5 日	事前課題発表
4 月 7 日	日立ビジネスオリガミ ワークショップ
4 月 11 日	林信行講演会 「AI と創造のこれから」
4 月 12 日	スカパー学生向けガイダンス
4 月 13 日	SONY メンター紹介
4 月 14 日	NEC メンター紹介
4 月 28 日	中間発表
5 月 11 日	PS スケッチ講習会
5 月 17 日、18 日	CMF 講習会
6 月 7 日	最終プレゼンリハーサル
6 月 8 日	最終プレゼンテーション
6 月 17 日	座談会
10 月 28 日	落合陽一名誉客員教授に プレゼン・講評
11 月 3 日～5 日	美大祭期間中に新校舎にて 展示



落合陽一客員教授にプレゼンテーション



落合陽一先生の講評

163

これからの移動 2040

2040年の移動を考えると、もう、自分が移動する必要がなくなるのではないか。バーチャルでどこへでも行けてしまう。望めばどんなモノも目の前に来る時代だと考える。これは、映像だけではなく、その空気感や触覚、人間の五感全てに対して人工で作った感覚が、リアルと区別がつかなくなる時代になるのではないかと思う。リアルを超えた価値として望むところに行ける時代において、2040年は何がどこにどのように移動するのか？今の学生にはこの抽象的な課題をやる意義があり、モビリティデザインの将来にもかかわる重要なテーマだと思う。今回もビジョナリーシンキングの手法で3年生9名の学生が、スズキデザインのメンター3名と共に未来洞察を行い、持続可能でより良い未来の「移動」として、AIには考え出せないオリジナリティあふれる個性的でユニークなモビリティを提案することができた。



展示会場で公開プレゼンテーション



スズキ歴史館見学



白山ろく民俗資料館見学

【委託者】	
スズキ株式会社	
【期間】	
2023年4月—2024年3月	
【研究体制】	
授業導入型	
【担当教員】	
浅野 隆	教授 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

【参加学生】		
メンター	服部 泰幸	スズキ株式会社
リーダー	森島 小妃瑛	製品デザイン専攻 3年
	関口 優月	製品デザイン専攻 3年
	山田 琴琳	製品デザイン専攻 3年
メンター	小笹 哲哉	スズキ株式会社
リーダー	上野 有輝	製品デザイン専攻 3年
	梶川 太陽	製品デザイン専攻 3年
	大霜 完太	製品デザイン専攻 3年
メンター	結城 康和	スズキ株式会社
リーダー	相馬 爽人	製品デザイン専攻 3年
	坪内 大貴	製品デザイン専攻 3年
	芝山 昂太郎	製品デザイン専攻 3年

【開発日程】	
2023年	
3月～	ガイダンス、事前課題
4月3日	事前課題発表・メンターとミーティング
4月11日	スズキ歴史館見学
4月14日	前期授業スタート
4月28日	メンターとのミーティング
4月28日	合同中間発表（アイデア確定）
5月11日、12日	PSスケッチワークショップ
5月17日、18日	CMFワークショップ
5月25日	最終CG完成 合同ミーティング
6月2日	パナー・冊子データ完成
6月8日、9日	最終プレゼンテーション
10月23日～11月5日	本学新キャンパスで展示会・公開プレゼンテーション
10月28日	落合陽一名誉客員教授にプレゼン・講評会



メンターとのミーティング



最終プレゼンテーション

164

珪藻土を使った新しい製品のデザイン研究

soil 株式会社は珪藻土を使ったデザイン性の高い製品の製造販売を行っている。多孔質である珪藻土の特性である吸湿性を活かしたバスマットを筆頭に、洗面周り、キッチン製品、玄関周りの製品などを製造してきた。近年では、アロマ製品や、左官技術である「洗い出し」「研ぎ出し」「墨流し」などを用いた表情豊かな製品の製造を行っている。

これまでは珪藻土の特性を最大限に活用した製品の開発を行ってきたが、より広く製品の可能性を模索するため、必ずしも珪藻土の特性にこだわらない新たなアイテムの提案をしてほしいとの依頼があった。

学生たちの提案の中には、カップウォーマーや燗製器など、熱や火を扱う提案も含まれていたが、耐熱実験で破壊されてしまい、制作を断念した。最終的に試作までたどり着いた提案には、濡れると図像が浮き出るバスマット、ステーションナリー（ペン、ペントレー、ペーパートレイ、はさみ）、アクセサリー（アロマイヤリング）があり、この中から新たな製品の開発につなげていくアイテムを選出し、進めていくそうである。



試作：図像が浮き出るバスマット



製造工程見学



フラッグシップショップ

【委託者】	
soil 株式会社	
【期間】	
2023年5月—2024年3月	
【研究体制】	
プロジェクト型	
【担当教員】	
安島 諭	教授 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

【参加学生】	
藤井 香菜子	大学院 デザイン専攻 2年
篝 佑伽	大学院 デザイン専攻 1年
市川 玲音	製品デザイン専攻 4年

【開発日程】	
2023年	
7月26日	キックオフミーティング
8月7日	オリエンテーション、工場製造 工程見学、フラッグシップショ ップ見学
8月～	アイデア検討
10月6日	プレゼンテーション検討
10月11日	プレゼンテーション
10月17日	フィードバック
10月30日	3Dデータ送付
11月22日	図面送付
12月～	制作



試作：文房具提案の一部



試作：アクセサリー提案の一部

165

「赤ちゃんを惹きつけるビジュアル・カラー・形とは何か？」のデザインコンペティション

本研究室の研究テーマの「アソビ」の根源に最も近い“赤ちゃん”の感覚、興味、喜び、がどのようなものかの知見を、日本有数の育児用品総合メーカーのビジョン社から得ることで、制作するグラフィックに入れ込む要素の効果検証などを行って行きたいと考えた。

今回は学生からグラフィック作品を募集し、「美術の基礎を学んだ学生の純粋な感性」と、「デザインの思考からくる考察と狙い」を赤ちゃんが評価することで、大人の思いもよらない気づきと面白さが発見できるのではないかと思います。制作をスタートする前に、ビジョン社に講義をしていただき、取り組み方をインプットしてもらえたことで、闇雲に制作するのではなく、赤ちゃんについてそれぞれが理解し、赤ちゃんが興味を持つためにはどうしたらいいか、検討できたと思う。それぞれのアプローチの効果がみられることを期待し、2023 年 10 月に赤ちゃん審査を実施した。

今回選定されたグラフィックをビジョン社の広報物や、製品へ活用することを継続し検討する。



ビジョン本社での集合写真



赤ちゃん審査の様子



最終的に赤ちゃんに選ばれた最優秀賞の作品



石川県立図書館での展示



ビジョンより配布されるポストカード

【委託者】
ビジョン株式会社
【期間】
2023 年 7 月—2024 年 3 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
樟島 脩 講師 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

【参加学生】
谷口 咲 視覚デザイン専攻3年
藤本 裕人 視覚デザイン専攻3年
外山 晴菜 視覚デザイン専攻2年
三隅 玲那 視覚デザイン専攻2年
池田 和都 ホリスティックデザイン専攻1年
石木 双葉 ホリスティックデザイン専攻1年
出雲 涼菜 ホリスティックデザイン専攻1年
辻ノ上 真綾 ホリスティックデザイン専攻1年
中尾 涼夏 ホリスティックデザイン専攻1年
橋元 風香 ホリスティックデザイン専攻1年
堀田 陽生 ホリスティックデザイン専攻1年

【開発日程】
2023 年
7 月 25 日 オリエンテーション 概要、デザイン条件等説明
8 月 22 日 1 次審査・有識者講評
9 月 29 日 会社・ショールーム見学
10 月 16 日 赤ちゃん選考会
11 月 17 日 表彰・総評

166

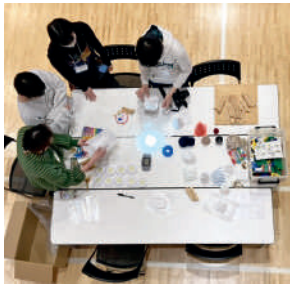
東北レインボーハウス ワークショップのデザイン作成



ワークショップで制作した作品と



ワークショップのフライヤー



真空成形制作の準備

【委託者】
三谷産業株式会社
【期間】
2023 年 6 月—2024 年 3 月
【研究体制】
プロジェクト型
【担当教員】
安島 諭 教授 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

【参加学生】
藤井 香菜子 大学院 デザイン専攻 2 年
菅原 菜月 製品デザイン専攻 4 年
阿部 真子 環境デザイン専攻 4 年
中村 彩 環境デザイン専攻 4 年
亀田 あかり 製品デザイン専攻 3 年
泉 泰平 製品デザイン専攻 2 年
西田 恵美里 製品デザイン専攻 2 年
山西 優心 製品デザイン専攻 2 年
伊藤 はな 環境デザイン専攻 2 年
藤井 七星 環境デザイン専攻 2 年
坂東 凜汰朗 デザイン専攻研究生

【開発日程】
2023 年
6 月 16 日 キックオフ学内ミーティング
6 月 27 日 企画案プレゼンテーション
7 月 4 日 実施案のフィードバック
7 月 18 日 実施案プレゼンテーション
7 月 22 日 仙台会場下見・打ち合わせ
7 月 23 日 被災地視察
8 月 5 日 製作実験ミーティング
8 月 5 日 フライヤー案送付、制作開始
10 月 10 日 最終確認ミーティング
11 月 1 日 材料・説明書発送
11 月 11 日 ワークショップ
2024 年
2 月 27 日 記念色紙の制作・送付



刺繍制作の準備



看板制作の準備

「めがね」をイメージする
建造物のデザイン研究



IOFT 国際メガネ展で展示

福井県眼鏡協会との産学連携は他大学では類を見ない学生主体の「メガネ部」部活動としての受け入れ体制で、今年度で 22 年続いている。情報の引き継ぎ、ノウハウの蓄積、上級生から下級生への専門的なデザイン指導など、年々研究は深化している。

今年度は新たな試みとして、例年のメガネフレームデザインではなく、めがねのまち鯖江を全国にアピールする目的で、各眼鏡関連会社に目でめがねの会社だとわかる「めがねをイメージする建造物」をデザインすることになった。4 年生をリーダーに 3 つのグループに分かれ、最終的に 37 案を提案した。作品は IOFT 国際メガネ展（東京ビックサイト）に出展し公開した。複数案が採用され、年度末までに鯖江市内の各企業に設置される予定。



最優秀賞：栗原 優佳



優秀賞：畠野 遙



レンズパーク見学



意見交換会

【委託者】		
一般社団法人 福井県眼鏡協会		
【期間】		
2023 年 5 月—2024 年 3 月		
【研究体制】		
プロジェクト型		
【担当教員】		
浅野 隆	教授	デザイン科 インダストリアルデザイン専攻
【参加学生】		
A GROUP		
リーダー	市川 玲音	製品デザイン専攻 4 年
サブリーダー	喜田 夏美	製品デザイン専攻 4 年
	古口 善浩	ID 研究生
	畠野 遙	製品デザイン専攻 2 年
	栗原 優佳	製品デザイン専攻 2 年
	吾妻 愛太郎	インダストリア デザイン専攻 1 年
	太田 聖華	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	西木場 友希	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	松尾 一輝	インダストリアル デザイン専攻 1 年

B GROUP		
リーダー	菅原 菜月	製品デザイン専攻 4 年
サブリーダー	小林 咲輝	製品デザイン専攻 4 年
	坂東 凜汰朗	ID 研究生
	西田 恵美里	製品デザイン専攻 2 年
	山西 優心	製品デザイン専攻 2 年
	児玉 結音	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	田村 侃	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	前川 楓果	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	道林 南美	インダストリアル デザイン専攻 1 年
C GROUP		
リーダー	谷 水彩紀	製品デザイン専攻 4 年
サブリーダー	成瀬 真歩	製品デザイン専攻 4 年
	真杉 帆々香	視覚デザイン専攻 2 年
	吉田 明凜	視覚デザイン専攻 2 年
	東郷 荘太郎	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	南野 結	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	森 頌真	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	山内 はんな	インダストリアル デザイン専攻 1 年
	山下 一颯	インダストリアル デザイン専攻 1 年

【開発日程】		
2023 年		
4 月～	部員募集告知	
5 月 8 日	メガネ部部活紹介	
5 月 22 日	部員顔合わせ、グループ分け アイデア検討	
7 月 24 日	中間プレゼンテーション(美大) オンラインにより産地デザイナーも参加 班ごとのメンターになってもらう	
8 月 4 日	産地見学・産地デザイナーとの 意見交換会 デザイン決定、パネル、モデル制作	
9 月 22 日	最終プレゼンテーション (めがね会館)	
10 月 10 日	IOFT 国際メガネ展出展・視察	
11 月 3 日～5 日	美大祭で展示	
10 月～2 月	採用案実施設計フォロー	

金沢市における課題の探索と
ソリューションアイデア創出



オーバーツーリズム、除雪問題、新たな観光体験など、金沢の課題を解決する様々な提案

金沢市が公開している様々な政策・構想資料を調査することで、現在もしくは近い将来に想定される課題を抽出し、それらを解決・促進するソリューションやサービス、UX をデザインによって可視化する共同研究である。

初めに、課題テーマとなりそうなポイントや気づきを様々な領域から抽出し、リサーチを行った。その気づきから想定されるベルソナを定義し、実際にインタビューを実施することで、ユーザーの視点での問題をさらに深く掘り下げた。仮説を立てながら、現地に向いてインタビューや検証を繰り返すことで、「ユーザにとってニーズはあるか」「本当にそのユーザのためになっているか」を確認し、コンセプトの精度を高め、具体的なソリューション、サービス、プロダクトに落とし込んでいった。課題期間中はキックオフと最終成果報告を含めて 4 回のワークショップを開催した。インタビューのフィードバックなどを共有しながらディスカッションを重ねる事で、ユーザーの視点に立ってデザインすることの大切さを学びながら、さまざまな領域に対する魅力的なアイデアが創出された。



ワークショップ、プレゼンテーション



アイデアに対するフィードバック

【委託者】		
三菱電機株式会社 統合デザイン研究所		
【期間】		
2023 年 4 月—2024 年 3 月		
【研究体制】		
プロジェクト型		
【担当教員】		
入矢 真一	教授	デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

【参加学生】		
稲垣 晶子	製品デザイン専攻 3 年	
上野 直人	製品デザイン専攻 3 年	
上野 有輝	製品デザイン専攻 3 年	
大霜 完太	製品デザイン専攻 3 年	
梶川 太陽	製品デザイン専攻 3 年	
亀田 あかり	製品デザイン専攻 3 年	
川端 鈴奈	製品デザイン専攻 3 年	
喜多 純平	製品デザイン専攻 3 年	
芝山 昂太郎	製品デザイン専攻 3 年	
関口 優月	製品デザイン専攻 3 年	
相馬 爽人	製品デザイン専攻 3 年	
坪内 大貴	製品デザイン専攻 3 年	
中南 温恵	製品デザイン専攻 3 年	
西野 花咲	製品デザイン専攻 3 年	
福島 蘭奈	製品デザイン専攻 3 年	
前川 桃葉	製品デザイン専攻 3 年	
森島 小妃瑛	製品デザイン専攻 3 年	
山田 琴琳	製品デザイン専攻 3 年	
山田 真由	製品デザイン専攻 3 年	

【開発日程】		
2023 年		
9 月 21 日	事前ミーティング、事前リサーチ開始	
10 月 2 日	グループワーク、事前リサーチ 進捗確認	
10 月 6 日	キックオフ/ ワークショップ 1 事前リサーチ内容の共有	
10 月 13 日	中間共有会 (オンライン) 課題抽出とニーズ・インサイト 発掘、ベルソナ設定とインタビ ュー	
10 月 24 日	ワークショップ 2 ベルソナの定義とインサイ トの分類、How might we(HMW) の設定とアイデア 展開	
11 月 9 日	ワークショップ 3 コンセプト発表と フィードバック	
11 月 22 日	ワークショップ 4 コンセプトを更にベルソナにイ ンタビュールし、フィードバック をデザインに反映	
11 月 30 日	成果発表プレゼンテーション	



調査による気づきの発見と、ベルソナの定義



アイデアの発散と、具体的な深掘

冬季イルミネーションの空間演出計画



「FLOW- 自然の流れに身を任せる -」

【委託者】	【参加学生】
株式会社 金沢村田製作所	明石 怜旺 大学院 デザイン専攻 1 年
【期間】	川合 理恭 環境デザイン専攻 2 年
2023 年 4 月—2024 年 3 月	肥後 環希 環境デザイン専攻 2 年
【研究体制】	藤井 七星 環境デザイン専攻 2 年
プロジェクト型	
【担当教員】	
畝野 裕司 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻	

金沢村田製作所の従業員や会社を訪れた人たちに楽しんでもらうため、敷地内に夜だけでなく昼も楽しめるイルミネーション作品を約1年かけて制作した。「アートは SDGs のために何ができるのか?」というテーマからイルミネーションの可能性を探り、アップデザインから着想を得て「REGENERATION」(再生、新生、復活) というコンセプトを立て、3つの光のオブジェを制作した。

「FLOW- 自然の流れに身を任せる -」は、廃棄される予定の竹材を伐採させていただき発光ダイオード(LED)で装飾して幻想的に空間を演出した。

「CYCLE- 輝く持続可能な未来を願い広がる循環の輪 -」と「REINCARNATION- 捨てられるものに新しい価値を与える -」では、廃棄されるペットボトルや昨年のオブジェに使われた素材を加工して再利用するなど環境にも配慮した。

デザイン提案したものが実寸で完成したこと、四十万公民館の方に協力していただき竹の資材を伐採させていただくなど、貴重な機会をいただき大変充実した研究となった。



「CYCLE- 輝く持続可能な未来を願い広がる循環の輪 -」



「REINCARNATION- 捨てられるものに新しい価値を与える -」



最終活動報告会



活動報告会・点灯式

「金沢をイメージした水菓子容器の開発」デザイン研究



最終提案デザイン

【委託者】	【参加学生】
馬場化学工業株式会社	明石 怜旺 大学院 デザイン専攻 1 年
【期間】	伊藤 はな 環境デザイン専攻 2 年
2023 年 7 月—2024 年 3 月	川合 理恭 環境デザイン専攻 2 年
【研究体制】	大門 千隼 環境デザイン専攻 2 年
プロジェクト型	
【担当教員】	
畝野 裕司 教授 デザイン科 ホリスティックデザイン専攻	

みなさんも一度は、お菓子のパッケージにつられて、思わず手を伸ばして購入してしまった経験があるのではないのでしょうか？

商品のパッケージデザインは売り上げを左右する重要な要素の1つです。また、お菓子業界は、消費者のデザイン嗜好や好感度が時代や情勢によって移り変わっていくため製品の入れ替わりが激しい業界でもあります。

そんな中で、学生たちにとって和菓子には渋いイメージがあり、普段のおやつとしてはあまり選ばれない…そんなイメージかもしれませんが、これまでの伝統を打ち破り新たに挑戦した「ネオ和菓子」に着目しました。私たちは、和菓子の定義を議論し、金沢らしさを深掘りして思わず手に取りたくなる独自性や美味しそうに見え、楽しさを感じさせる斬新なスタイルの和菓子を企画からパッケージまで通してデザイン開発に取り組みました。



最終プレゼンテーション



最終プレゼンテーション

【開発日程】
2023 年
6 月 29 日 キックオフ MTG
7 月 15 日 昨年のプロジェクト報告会
8 月 10 日 第一回 体験調査 (種類の容器の違いについての調査)
8 月 20 日 web 調査発表会
8 月 20 日 第二回 体験調査 (価格による容器の違いについての調査)
9 月 21 日 フラッシュアイデア発表会
9 月 21 日 第三回 体験調査 (Uber での注文実態調査)
11 月 19 日 ラビットモデル確認
12 月 17 日 中間デザインプレゼンテーション
12 月 23 日 ラビットモデルのリアル評価会
2024 年
1 月 25 日 ラビットモデルのリアル評価会
2 月 15 日 最終デザインプレゼンテーション

A08

A08

本企画は本学と北陸銀行の連携協力に関する協定に基づき、学生の研究成果発表の場を提供するとともに、文化芸術を地域社会に発信する機会とするものである。

銀行内の応接室や会議室などに本学大学院修士課程絵画専攻学生の作品を展示することで職場環境に潤いを与えるとともに、行員はもとより来客等にも絵画を鑑賞する場を提供し、芸術による豊かな空間を創出している。

北陸銀行 金沢中央支店における作品展示



作品展示作業

[委託者]

株式会社 北陸銀行 金沢中央支店

[期間]

2023年11月—2024年11月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

松崎 十郎 教授 美術科 日本画専攻

三浦 賢治 教授 美術科 油画専攻

[参加学生]

矢野 宏実 大学院 絵画専攻1年

石野 駿平 大学院 絵画専攻1年

荒山 莉子 大学院 絵画専攻1年



石野 駿平 「蔵 (くら)」



矢野 宏実 「愁籬 (しゅうせん)」



荒山 莉子 「Fragment#2」



荒山 莉子 「Fragment#3」